



## 平成28年12月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成28年10月31日

上場取引所 東

上場会社名 クリエイトメディック株式会社

コード番号 5187 URL <http://www.createmedic.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役 社長 (氏名) 佐藤 正浩

問合せ先責任者 (役職名) 取締役専務執行役員 管理統括部長 (氏名) 橋井 敦

TEL 045-943-2611

四半期報告書提出予定日 平成28年11月11日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成28年12月期第3四半期の連結業績(平成28年1月1日～平成28年9月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年12月期第3四半期	6,990	2.7	531	56.0	409	14.5	322	92.5
27年12月期第3四半期	6,809	△2.0	340	△30.0	358	△35.8	167	△56.9

(注)包括利益 28年12月期第3四半期 △446百万円 (—%) 27年12月期第3四半期 110百万円 (△77.0%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年12月期第3四半期	34.06	—
27年12月期第3四半期	17.44	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
28年12月期第3四半期	16,526	12,109	73.3	1,299.92
27年12月期	17,191	13,143	76.5	1,366.83

(参考)自己資本 28年12月期第3四半期 12,109百万円 27年12月期 13,143百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年12月期	—	16.00	—	19.00	35.00
28年12月期	—	16.00	—	—	—
28年12月期(予想)	—	—	—	19.00	35.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成28年12月期の連結業績予想(平成28年1月1日～平成28年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	9,768	1.2	706	8.9	608	△7.2	430	29.1	45.54

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料P. 3 「2. サマリー情報 (注記事項) に関する事項 (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

28年12月期3Q	9,664,327 株	27年12月期	9,664,327 株
28年12月期3Q	348,451 株	27年12月期	48,369 株
28年12月期3Q	9,478,963 株	27年12月期3Q	9,616,102 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対するレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の実績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	P. 2
(1) 経営成績に関する説明 .....	P. 2
(2) 財政状態に関する説明 .....	P. 3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	P. 3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項 .....	P. 3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	P. 3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	P. 3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	P. 3
3. 四半期連結財務諸表 .....	P. 4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	P. 4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	P. 6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	P. 6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	P. 7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	P. 8
(継続企業の前提に関する注記) .....	P. 8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	P. 8
(セグメント情報等) .....	P. 8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府の経済政策や日銀の金融緩和策の継続によって、緩やかな回復基調で推移しており、年初からの円高や原油安、株安についても落ち着きが見られております。しかしながら中国をはじめとする新興国の経済動向や、欧州を中心とした地政学リスクの高まり、米国の大統領選の動向など、わが国経済に与えるリスクが数多くあり、不透明感を払拭できない状況となっております。

医療機器業界におきましては、「地域包括ケアシステム」や「特定行為に係る看護師の研修制度」といった政府の在宅医療政策を背景に、一部で需要拡大も見込まれておりますが、平成28年度の公定価格が引き続きマイナス改定となるなど、医療費抑制に向けた取り組みにより、厳しい状況が続いております。

このような環境の中、当社グループは、持続的な成長に向け、マーケティング力、開発力の強化に取り組むとともに、国内工場の統合や外注政策の見直しを推進し、原価低減と利益体質の改善に努めてまいりました。

また、技術開発力の強化を目的に、神奈川県川崎市の国際戦略総合特区（殿町キングスカイフロント）に建設を進めておりました研究開発センターは6月に開設いたしました。

これらの活動により、売上高につきましては、国内の自社販売が外科系製品の一部販売終了の影響を受け、前年をやや下回りましたが、OEM販売や海外販売が堅調に推移したことにより、全体では前年同期を上回る結果となりました。

利益面につきましても、販売数量の増加や外注施策に伴う原価低減、円高による海外製造コストの減少などにより、営業利益・経常利益とも前年同期を上回る結果となりました。また、親会社株主に帰属する四半期純利益につきましても、子会社取得に伴う負ののれん発生益や固定資産売却益等により、前年同期を大きく上回る結果となりました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の経営成績は、売上高6,990百万円（前年同期比2.7%増）、営業利益531百万円（前年同期比56.0%増）、経常利益409百万円（前年同期比14.5%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益322百万円（前年同期比92.5%増）となりました。

販売形態別の販売状況は、次のとおりであります。

#### < 自社販売 >

自社販売は、泌尿器系製品がフォーリートレイキットの消毒液付きタイプを中心に、引き続き好調に推移いたしました。外科系製品の一部販売終了の影響を受け、売上高4,327百万円（前年同期比3.5%減）となりました。

#### < OEM販売 >

OEM販売は、血管造影関連製品が昨年の在庫調整の反動により大きく伸長し、売上高1,300百万円（前年同期比24.9%増）となりました。

#### < 海外販売 >

海外販売は、前年同期比での円高による為替換算のマイナス影響を受けましたが、欧州市場、中国市場とも販売が好調に推移したことにより、売上高1,362百万円（前年同期比6.1%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第3四半期連結会計期間末の資産は、前連結会計年度末と比較して664百万円減少し16,526百万円となりました。これは、現金及び預金の増加352百万円、建物及び構築物の増加798百万円に対し、受取手形及び売掛金の減少554百万円、機械装置及び運搬具の減少154百万円、土地の減少164百万円、建設仮勘定の減少698百万円、投資有価証券の減少303百万円が主な要因です。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末の負債は、前連結会計年度末と比較して368百万円増加し4,416百万円となりました。これは、支払手形及び買掛金の減少24百万円、その他の減少22百万円に対し、1年内返済予定の長期借入金の増加36百万円、賞与引当金の増加113百万円、長期借入金の増加190百万円、退職給付に係る負債の増加39百万円が主な要因です。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末の純資産は、前連結会計年度末と比較して1,033百万円減少し12,109百万円となりました。これは、自己株式の取得による減少255百万円、為替換算調整勘定の減少700百万円、その他有価証券評価差額金の減少70百万円が主な要因です。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、平成28年8月4日の「第2四半期業績予想と実績値との差異及び通期業績予想の修正に関するお知らせ」で公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

「企業結合に関する会計基準」（企業会計基準第21号 平成25年9月13日）、「連結財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第22号 平成25年9月13日）及び「事業分離等に関する会計基準」（企業会計基準第7号 平成25年9月13日）等を、第1四半期連結会計期間から適用し、四半期純利益等の表示の変更及び少数株主持分から非支配株主持分への表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第3四半期連結累計期間及び前連結会計年度については、四半期連結財務諸表及び連結財務諸表の組替えを行っております。

## 3. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成28年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	4,130,330	4,482,870
受取手形及び売掛金	3,057,925	2,503,366
電子記録債権	500,503	533,762
有価証券	100,017	200,022
商品及び製品	1,355,783	1,408,880
仕掛品	646,770	577,056
原材料及び貯蔵品	565,368	483,875
繰延税金資産	95,994	134,419
その他	256,944	193,036
貸倒引当金	△1,000	△1,000
流動資産合計	10,708,639	10,516,290
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	2,044,051	2,843,021
機械装置及び運搬具(純額)	685,611	531,610
土地	1,982,606	1,818,100
建設仮勘定	700,692	2,102
その他(純額)	157,545	179,836
有形固定資産合計	5,570,506	5,374,670
無形固定資産		
借地権	184,294	161,129
その他	22,085	29,691
無形固定資産合計	206,380	190,821
投資その他の資産		
投資有価証券	563,791	259,890
繰延税金資産	90,064	129,984
その他	54,670	57,518
貸倒引当金	△2,746	△2,746
投資その他の資産合計	705,778	444,646
固定資産合計	6,482,665	6,010,138
資産合計	17,191,304	16,526,429

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成28年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	875,093	850,266
短期借入金	900,000	900,000
1年内返済予定の長期借入金	241,060	277,120
未払法人税等	57,685	91,665
賞与引当金	32,431	145,716
役員賞与引当金	10,570	15,031
その他	601,782	579,144
流動負債合計	2,718,622	2,858,944
固定負債		
長期借入金	561,590	751,590
退職給付に係る負債	670,503	709,661
役員退職慰労引当金	90,358	3,325
資産除去債務	3,183	3,235
長期未払金	3,680	89,790
固定負債合計	1,329,315	1,557,602
負債合計	4,047,937	4,416,546
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,461,735	1,461,735
資本剰余金	1,486,022	1,486,022
利益剰余金	9,248,078	9,239,157
自己株式	△35,078	△290,797
株主資本合計	12,160,758	11,896,118
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	102,759	32,549
為替換算調整勘定	877,040	176,333
退職給付に係る調整累計額	2,807	4,881
その他の包括利益累計額合計	982,608	213,764
純資産合計	13,143,367	12,109,882
負債純資産合計	17,191,304	16,526,429

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成27年1月1日 至平成27年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成28年1月1日 至平成28年9月30日)
売上高	6,809,849	6,990,349
売上原価	3,795,369	3,748,608
売上総利益	3,014,479	3,241,741
販売費及び一般管理費	2,673,830	2,710,299
営業利益	340,649	531,441
営業外収益		
受取利息	16,334	10,373
受取配当金	2,826	3,158
保険配当金	2,441	994
その他	15,878	9,828
営業外収益合計	37,481	24,355
営業外費用		
支払利息	9,110	8,869
為替差損	4,916	131,066
金利スワップ評価損	1,336	—
その他	4,646	5,877
営業外費用合計	20,009	145,813
経常利益	358,121	409,982
特別利益		
固定資産売却益	—	25,993
負ののれん発生益	—	36,018
特別利益合計	—	62,012
特別損失		
関係会社出資金評価損	7,992	—
役員退職慰労金	27,573	—
特別損失合計	35,565	—
税金等調整前四半期純利益	322,555	471,995
法人税、住民税及び事業税	158,757	193,877
法人税等調整額	△3,948	△44,719
法人税等合計	154,809	149,158
四半期純利益	167,746	322,836
親会社株主に帰属する四半期純利益	167,746	322,836

(四半期連結包括利益計算書)  
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成27年1月1日 至 平成27年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成28年1月1日 至 平成28年9月30日)
四半期純利益	167,746	322,836
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	20,497	△70,209
為替換算調整勘定	△77,709	△700,707
退職給付に係る調整額	130	2,073
その他の包括利益合計	△57,081	△768,843
四半期包括利益	110,665	△446,007
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	110,665	△446,007
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、平成28年2月12日開催の取締役会決議に基づき、自己株式300,000株の取得を行いました。主にこの影響により、当第3四半期連結累計期間において自己株式が255,719千円増加し、当第3四半期連結会計期間末において自己株式が290,797千円となっております。

なお、当該決議に基づく、自己株式の取得について、平成28年6月15日をもって終了しております。

(セグメント情報等)

当社グループはディスポーザブルカテーテル・チューブの製造・販売を主な事業とした単一セグメントであるため、セグメント情報の記載を省略しております。